

平成23年8月26日  
東北支所

## 平成23年度「独立行政法人産業技術総合研究所東北センター一般公開」共催参加報告

### 1. 「独立行政法人産業技術総合研究所東北センター一般公開」の概要

本年度は、独立行政法人産業技術総合研究所（以下「AIST」という。）東北センター及び独立行政法人製品評価技術基盤機構（以下「NITE」という。）の二機関共催で「一般公開」を実施した。

今年のテーマは『にがたけふしぎのひろばへようこそ』で、子供たちが最先端のサイエンスに直接接し、見たり、触ったりして楽しみながら、科学技術に興味、関心を深めていただくことを目的に、サイエンスコーナーにおいては、コンパクトシステムエンジニアリングチームから「二酸化炭素で行う革新的塗装技術とは」、触媒反応チームから「水と二酸化炭素を利用するサステナブル触媒反応システム開発(科学振興調整費)」、ナノポーラス材料チームから「ナノ空間を有する無機膜の開発とバイオマス由来物質の濃縮」、先進機能材料チームから「東北センターが開発した環境にやさしいエネルギー技術」、無機生体機能集積チームから「酵素センサーの高性能・長寿命化・酵素にぴったり合ったナノサイズの孔をつくり安定化を実現」を紹介し、チャレンジコーナーにおいては、前述チーム等が、あなたの息は何色？～息に含まれる二酸化炭素を測って見よう～、ポンプをまわして霧をつくろう、コンピュータで見えない流れを見よう、高速度カメラでいろんな動きをコマ送り、粘土で透明な葉っぱをつくろう、見えないエネルギーを感じてみよう等の体験コーナーを開催した。

(1) 開催日時：2011年8月20日（土） 10:00～16:00

全体総来場者数：486人

主催：AIST東北センター

共催：NITE東北支所

後援：宮城県教育委員会、仙台市教育委員会

会場：AIST東北センター

(仙台市宮城野区苦竹 4-2-1)

### 2. NITE広報活動

(1) 出展ゾーン及び展示内容

展示場所は、東北産学官連携研究棟の階段を上ったところの3階会議室で、「身近な危険を学んでみよう～キミは危険を予想できるかな～」、「小さい生き物を観察してみよう」及び「夏休み実験教室」をテーマにイベントを開催し、製品安全分野では、「電源コードを束ねた使用」を行った場合、本当にコードやテーブルタップが熱くなるのかをサーモグラフィを用いて実演するとともに、最近話題の事故品を中心に展示し、その内容を紹介したパネルも展示した。

バイオ分野では、顕微鏡でコウジカビの観察、実体顕微鏡でススカビの観察ができるように展示するとともに、プレート観察用に三点培養したコウジカビ、キャラクターの絵を描いたパン酵母、納豆菌等の展示、またパン酵母についてはその匂いを体験できるよう液体培養した培養液を展示した。

また、「夏休み実験教室」では、夏休みの自由研究のため、静電気、力のつりあい・重心、摩擦、大気圧、空気の流れ、水の圧力・浮力を利用した簡単な実験を紹介するとともに、夏休みの工作のため、「ガラスビーズとペットボトルで顕微鏡の作り方」等を説明し、「使わなくなったCDとビー玉で不思議な色や模様が出るCDコマを作ってみよう。」等を開催。

・配布資料：身・守りハンドブック、NBRCパンフ 等

## (2) 来場者について

### (a) 来場者

来場者は、乳幼児から高齢者まで幅広く、一人一人にN I T E 東北支所職員が丁寧かつ分かり易く説明を行った。

N I T E ブースの当日の様子



写真1 製品安全ブース風景



写真2 鑑賞風景



写真3 説明風景



写真4 バイオブース風景



写真5 鑑賞風景



写真6 説明風景



写真7 夏休み実験教室ブース風景



写真8 鑑賞風景



写真9 説明風景

### 3. まとめ

一般公開は毎年開催されており、今年は『にがたけふしぎのひろばへようこそ』と題して、子供たちが最先端のサイエンスに直に接し、見たり、触ったりして楽しみながら、科学技術に興味、関心を深めていただくことを目的に、サイエンスコーナーにおいては、AISTの研究成果が紹介され、チャレンジコーナーにおいては、あなたの息は何色？～息に含まれる二酸化炭素を測って見よう～等の不思議サイエンス体験コーナーが開催され、多くの家族連れが来場して楽しんでいました。

NITE製品分野では、展示にあたり、経年劣化による扇風機からの出火による事故やこれから季節的に使用が多くなると思われるカセットこんろの事故等身近な話題を考慮して事故品を展示し、来場者に事故調査の趣旨や展示品の説明等を行った。NITEの説明に対して、その存在や事故情報収集制度を知らなかった来訪者が多かったが、事故品への感心は高く、かなりの反響が得られた。来場者の意見としては「展示品の説明を聞いて、身近な製品での事故について改めて注意したい。」との声が多く、今回の参加によりNITE及び事故調査への期待がさらに高まったものと思われる。

また、NITEバイオ分野では、生物資源課等関係各課の協力の下、家族連れの小学生やその両親が楽しめることを考慮して展示し、身近なコウジカビを中心に、黒コウジカビ、シロコウジカビ及び青カビ等が発酵食品、お酒及び医薬品に役立っていることや、パン酵母、乳酸菌等がパンや乳酸飲料の様々な食品に役立っていることを説明するとともに、展示の流れに沿った微生物を利用した食品のクイズを行い、来場者の意見としては「様々な製品に微生物が役立っていることの説明を聞いて驚いた。」との声が多く、かなりの反響が得られことから、NITEの宣伝効果があったものと思われる。

さらに、一部小学校の教職員が見学に来場し、「中学校および高等学校教育用教材菌種」のチラシとNBRCのパンフレットを配布した。

以 上